

全体概要

調査目的

調査課題

小・中学校

- 北方領土問題をどのように教えているのかという実態を把握するとともに、教える側のニーズ(求める情報や教材)を把握
- 現在の教科書・参考書・教材等の調査を踏まえて効果的な教材の具体案の検討
- 北方領土返還要求運動の若い世代への継承と継続性に必要な要素の把握

高等学校

- 北方領土問題をどのように教えているのかという実態を把握する
- クラブ・サークル活動等、どのような手法を活用することで能動的に活動してもらえるか

調査事項

(1) 北方領土教育の実態調査

- 義務教育課程である全国の国公立及び私立小・中学校を対象とした北方領土教育の実態把握(北方領土に関する授業時間数及び授業内容等の把握)
→小学校・中学生、及び学年による違いも把握
- 北方領土問題を教えやすくなる情報(テーマ)、教材のイメージ



**北方領土教育の実態把握
北方領土を行う上での情報・教材ニーズの把握**

(2) 北方領土教育の在り方調査

- 小・中学生に向けて北方領土問題の重要性が理解可能な授業案についての把握
- 副読本・参考資料を作成する際の参考となる基本書についての把握
- 北方領土の位置が一目で把握できるような地図等についての把握



調査及び効果的な教育資材の開発についての具体案の提示

→学習資料集の改訂を視野に入れた提案

(3) 北方領土返還要求運動の教育面における在り方調査

- 返還要求運動の阻害要因を払拭するため、国民運動等の事例を参考にした調査を踏まえ、目指すべき行動指標等を明確化

→特に幼少期からの教育面に反映させる事項の検出



返還運動の世代継承と継続を可能にする具体案の提示

(4) 北方領土問題に関する高等学校基本調査

- 高等学校における北方領土問題学習について、より効率的な教育面での学習手法等を把握
→「地理歴史」及び「公民」との連携がどのように図られているのかを参考に
- 高等学校での北方領土に関するクラブ活動やサークル活動等の実態を調査する。

⇒根室市内の高校(根室高校等)が特に活動が活発であるが、地域性の他に、どのような要素が活動のモチベーションとなっているのかも把握する。



この調査結果を北方領土問題啓発活動と連動させて多様な啓発活動の選択肢を提示する

実施概要<業務フロー>

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
----	----	----	----	-----	-----	-----

● 6月下旬:人選決定/検討委員会開催要項作成/連絡調整

